

三木市記者発表資料（令和8年7月21日発表）			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
教育振興部 学校教育課	課長 武内克朗 (内線 3520)	学校指導係	0794-82-2000 (内線 3529)

タイトル	
令和 8 年度三木市中学校生徒会交流会を開催	
本件のポイント	
・ 三木市教育委員会は、生徒が学校生活の受け手ではなく、自ら学校をよりよくする「学校づくりの当事者」となる取組を進めています。 ・ 市内各中学校の生徒会役員が学校の課題や特色を交流し、自校で実現したい取組について教職員と対話しながら具体的な実践につなげます。 ・ 生徒が自分たちの手で学校文化を創り上げる経験を通して、主体性や協働性を育み、将来、社会の創り手として行動する力につなげます。	
説明文	
三木市教育委員会では、生徒が学校生活の受け手ではなく、自ら学校をよりよくする「学校づくりの当事者」となることをめざした取組を進めています。 この考え方のもと、三木市中学校長会及び三木市中学校特別活動研修部では、市内各中学校の生徒会役員が集まり、各校の特色ある取組や学校の課題について交流するとともに、「自分たちの学校で挑戦したいこと」や「よりよい学校にするために取り組みたいこと」について、教職員と共に考える「令和 8 年度三木市中学校生徒会交流会」を開催します。 交流会では、他校の実践から学び、自校に取り入れたい取組を具体的に考えるとともに、生徒と教職員が対話を重ねながら実現に向けた方法を検討します。このような経験を通して、生徒一人一人が学校づくりに主体的に参画する意識を高め、自ら考え、仲間と協力しながらよりよい学校文化を創り上げる力を育みます。 また、本交流会では、生徒主体の学校づくりを実践し、子どもの主体性や自治を大切にした学校改革に取り組まれてきた元東京都公立中学校長の西郷孝彦氏を招きます。本市がめざす「子どもが学校づくりの当事者となる学校づくり」の考え方と西郷氏の教育実践には共通する理念があることから、生徒と教職員の対話に助言をいただき、今後の学校づくりにつなげます。	
1 日 時	令和 8 年 7 月 30 日（木） 午後 1 時 ～ 4 時
2 場 所	三木市立教育センター 4 階 大研修室
3 目 的	他校の実践から学び、自校で実現したい学校づくりについて生徒と教職員が共に考え、学校の当事者として主体的に参画する意識を高めるとともに、自ら考え、仲間と協働しながらよりよい学校文化を創り上げる力を育成する。

4 主 催 三木市中学校長会・三木市中学校特別活動研修部

5 ホームページ <https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/61/95588.html>



本案件は次の SDGs 目標に関連します。

4 質の高い教育を
みんなに

